

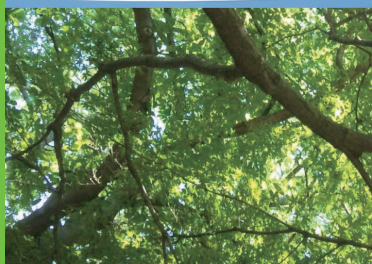
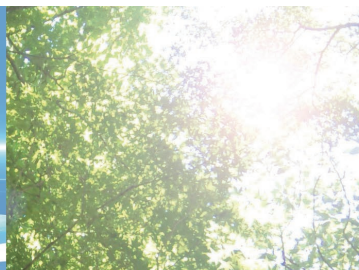
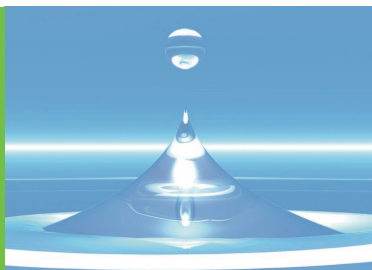
環境報告書は、企業・大学の新たな顔。 環境のプロがその品質向上をサポートします。

環境ビジネスに携わってきたプロが、あなたの報告書作成を全面的にサポート

環境報告書・CSR報告書作成支援サービス

近年の環境意識の高まりとともに、企業・大学の環境への姿勢をあらわす重要なコミュニケーションツールとなった環境報告書・CSR報告書は、いまやその質が問われる時代になってきています。しかし、多くの業務を抱える中での作成・発行となるため「毎年発行するのが精いっぱい」「他の企業や大学の報告書とほとんど変わらない」という担当の方の声も聞かれます。

NTT-ATは、これまで培ってきた環境ビジネスのノウハウをもとに、報告書の企画から公開にいたるすべての場面でサポートします。まずはお気軽にご相談ください。



こんなことでお困りではありませんか？

報告書が、
コミュニケーションツール
として有効に活用できるよう
全力でサポートします！

✓ 初めての発行、まず何から始めればいい？

最近、得意先が環境への取り組みを始めた。取引先の手から要請があったらしく環境報告書の発行も条件に入っているらしい。自分の会社にも要請が来るかもしれないから早めに準備をしたいが、初めてなので何から始めればいいのかわからない…

✓ 毎年内容が似たり寄ったり。どうすれば特徴が出せる？

とりえずガイドラインには沿って作っているが、あまりうちの特徴が出ているかが分からない。それに読み手の人にとって、分かりやすく伝わっているのかどうか不安だ…

✓ サークル活動での取り組みを広めたい。どう取り上げればいい？

最近、うちの大学の環境サークルの学生たちが地域の人々と連携して活動しているらしい。ぜひ彼らの取り組みを学校内外に伝えたいが、どうすれば効果的にできるだろうか…



NTT-ATは、ココが違います！

実務での悩みや難しさなどを熟知している環境部門経験者が、お客様をサポートいたします。

POINT 1 環境分野の スペシャリスト

EMS^{※1}の主任審査員資格をもつスタッフを始めとし、LCA^{※2}、環境会計、関連法規制の知識を持ったコンサルタントが強かにサポートします。

POINT 2 サービス範囲は 自由自在

企画から原稿のリライト・校正、公開まで、ご依頼項目を自由に設定いただけます。

POINT 3 教育・研究機関の 現場を熟知

研究機関でのEMS構築・運用経験や、大学と連携した活動の経験があり、特に教育研究機関のEMSに精通しています。

※1 EMS: 環境マネジメントシステム ※2 LCA: ライフサイクルアセスメント

サービスの流れ

企画

目的や想定する読者のイメージを明確にした上で、コンテンツやデザインなど編集方針をご提案します。

情報収集

EMSに関する各種情報やデータを収集し、分析します。また関連する部署やご担当の方にインタビューを行います。

報告書作成

これまでの情報をもとに原稿を作成します。同時にお客様が作成された原稿の編集やリライトも実施します。

公開

通常の冊子以外にも、Webや電子ブックなどによる公開もお選びいただけます。

私たちのノウハウを
御社の報告書作成に
お役立てください！



お客様からの声

- 「写真や図を多用して見やすくなっている上に、文章表現や言葉も分かりやすく、一般の方が読んでも理解しやすい環境報告書が完成しました。また、ISO14001の審査ではグッドポイントをいただきました。」<製造業>
- 「インタビューの進め方が良く、学生や教職員などの環境に対する研究・活動内容や、環境問題に対する思いなどを上手に引き出してくれました。」<国立大学>

201704B

TEL: 0120-057-601 E-mail: sales@ml.ntt-at.co.jp

お問い合わせ先

http://keytech.ntt-at.co.jp/consulting/prd_0013.html

※ 記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※ 本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。
※ カタログ記載内容 2017年4月現在

NTTアドバンステクノロジー株式会社

グローバル事業本部
環境ビジネスユニット

〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1 ネオンシティ三鷹ビル